

ナガオノキシノブ

Lepisorus angustus Ching
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

以前は老木や岩石等に多く着生していたが、森林伐採や基物の枯死によって、急激に減少している。

分 布

全国分布は本州、四国。県内分布は敦賀市、大野市、勝山市、南越前町、おおい町。

種の特徴

常緑性で根茎を長くはわせ、葉をまばらにつける。明らかな葉柄を持つ。葉身の先端は尾状に長くのびる。

生育を脅かす要因

森林伐採。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1981)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○	○		○							○	○	

ホテイシダ

Lepisorus annuifrons (Makino) Ching
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

深山の老木に着生していたが、今回の調査でほとんど見られなかった。

分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は勝山市、大野市、池田町、越前市、南越前町、若狭町、おおい町。

種の特徴

夏緑性で、根茎から単葉を出す。葉柄は短く、葉身は披針形で基部は幅広く、先端に向けて徐々に狭くなる。葉質は紙質、淡黄緑色で、葉縁は不規則に波打つ。孢子嚢群は円形でやや中肋よりにつく。

生育を脅かす要因

森林伐採。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1981)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○						○	○			○			○	○	

ヒメノキシノブ

Lepisorus onoei (Franch. et Sav.) Ching
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

山地の日当たりのよい老木や岩石に着生している。近年、着生植物全般が減少しているので注目したい。

分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布はおおい町、美浜町、高浜町、南越前町。

種の特徴

常緑性。根茎は細くはい、多くの鱗片をつける。葉をまばらに出す。葉柄は短く、葉身の先端は丸くなる。孢子嚢群は中肋の両側につき、大きい。

生育を脅かす要因

森林伐採。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1981)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○	○				○									